

第3回合同会議開催 「今年度学校評価」「次年度経営方針」を理解・了承

3月7日（木）に伊達西小学校図書室において、伊達西小委員6名、光陵中委員7名、事務局2名参加の下、管澤スクールソーシャルワーカーをオブザーバーとしてお招きし、今年度3回目の学校運営協議会合同委員会を開催しました。

伊達西小学校運営協議会馬場会長の挨拶に始まり、両校教頭より、学校評価の集約結果及び分析による成果と課題を委員の皆様へ説明しました。また、両校校長から、次年度の学校経営の方向性について、経営の重点等を中心に、今年度の成果と課題を踏まえて説明しました。終わりには、市立図書館運営協力会会長として社会教育功労者表彰を受賞された光陵中学校運営協議会本多会長を称え、会を閉じました。協議の主な内容は次のとおりです。



1. 令和5年度学校評価結果について

統合に伴いスクールバスの導入に至った伊達西小学校は、今年度の実績を基に次年度の日課表を見直すことが説明されました。それを受けて、昨今のいじめ問題のこじれを防ぐためにも、担任が一人で抱え込むことなく、学年団等で問題を多面的に捉えたり、指導方針を協議したりと、複数人で共有する時間の確保が必要であるとのことをご意見を頂きました。併せて、光陵中学校の日課変更に対して予定の有無の確認に対しては、学校からは現時点では予定がない旨の回答がありました。

また、光陵中学校の不登校出現率7%（12月現在）の高さについて質問があり、実態や対応の詳細と、研修部を中心に授業の在り方や教育活動を工夫するという次年度の見通しについて報告がされました。

「家庭学習」「SNS・スマホの使用」においては、両校共通の課題として挙げられた。公立高校の出願状況を見ると、中学校の学習指導に困難さを感じると感想が述べられました。さらには、次期学習指導要領改訂に伴う授業時間の5分短縮についても話題となりました。

2. 令和6年度学校経営の方向性について

伊達西小学校、光陵中学校の校長から、それぞれ令和6年度の学校経営の方向性についての説明がありました。伊達西小学校からは、有珠小学校との統合に伴う課題を踏まえ、長和小学校との統合に生かすこと、引き続き『安心』『安全』『がんばる』をキーワードに学校教育を推進することの説明がなされました。光陵中学校からは、「たくましさ」をキーワードに掲げながら、今年度の教育活動を継承していくことの説明がなされました。説明内容全体を通して、委員の方々から理解を得られ、両校の学校経営の方向性について、了承していくことが確認されました。

3. その他

- 令和6年度は、伊達西小学校学校運営協議会員として、長和地区から2名加わる。
- 令和6年度は3年任期最後の年度である。
- 令和6年度第1回は5月中旬に開催予定である。

※今回の合同会議でいただいたご意見やご質問などを生かしながら、今後、新年度の学校体制の準備を進めてまいります。終わりになりましたが、今年度の両校の学校運営に際し、感謝を申し上げ、次年度も変わらぬご支援をいただけますようよろしくお願いいたします。